



かえでゆうびん 11月号

2025年11月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
かえで保育園
園長 引地 美津代

今年は秋がなく急に冬到来となりました。寒暖差が大きく、体調管理が難しいですが、子どもたちは元気いっぱい過ごしています。あっという間に木枯らしの季節になりますが、「小さい秋」を子どもたちと探しながら心地よい秋を感じられたらと思います。今年も秋の恒例の杉玉づくりをだいち組の子どもたちと作りました。残念ながら今年は暑すぎた夏の影響で杉の葉がすぐに枯れてしまい色の悪いカサカサの杉玉になってしまいそうです。子どもたちは「だいちになったらできるんだよ～」「ひかりの子どもたちははやくだいちになりたいな～」と言いながら頑張っ～と応援してくれていました。11月連休明けに名前を決めて今年の●型を整えます。本来は新酒ができましたを知らせる杉玉ですがかえで保育園では「げんきのしるし」「しあわせのしるし」で玄関に飾っています。今年の杉玉をどんな風に出来上がるか楽しみに・・・

さて、私事ですが、3月に孫が誕生しました。息子の仕事で遠くにいる為、毎月FaceTimeでつながり癒しの時間をもらっています。昨日も日本シリーズが終わるころに（時差があるので）画面上での再会をしました。画面をじっとみつめ、記憶をたどりながら「あ！そうだった・・・」と私たち老夫婦の顔や声を認識し、笑顔に向けて身をのりだし、「あ～。あ～う～」と話を始めてくれます。私の子育ての時にはなかった画面上での人との会話やpcからの音声を8か月になる乳児が認識し、コミュニケーションを取れることにこの先、人との距離感や音などの受けとり方も大きく変化していくのだろうと感じています。AIがどんどん進み、日本では感情が読み取れるようなシステムを開発しているようですが、乳幼児期にはできるだけ生の声や人の息遣いをたくさん経験し「人間らしさ」を感じられるような生活をしていきたいと園では保育を進めていますが、孫と会えるFaceTimeの時間が待ち遠しいという気持ちが矛盾している今日この頃です。

園長 引地 美津代

空に浮かぶ雲の形が変わり秋の訪れを感じた日から、ぐんと冷え込みましたね。毎年この季節ならではの風の匂いを感じて“秋がやってきたな～”とわくわくしていましたが、心地よく過ごせる『秋』がどんどんと短くなっているようで寂しく感じています。その中でもあたたかいココアを飲んで一息つきながら、ほっこり過ごすのが最近のマイブームです。そして大好きなきのこの中で最近見つけた“霜降りひらたけ”は、食べ応え抜群！きのこは苦手な子ども多いかもしれませんが・・・お店で見かけたらぜひ召し上がってみてください。さて、10月に入り玄関で「ヤモリやさんでーす」と宣伝しているだいちさんを見かけた方もいらっしゃるかもしれませんが、だいち組の子どもたちがヤモリのお世話を始めました。その名も“ヤモくん”なんと絵本バックのかごの下から現れたようで、初めに見つけたHちゃんは、その日からヤモくんのことが気になってたまりません。小さなプラスチックのかごの中にひとりぽっちで寂しそうな姿を見て、心地よいおうちをつくってあげることにしました。「こっちの木の方がすべすべで気持ちいいんじゃない？」「この入れ物ならお水、飲みやすいかな？」と、ヤモくんのことを沢山考えてつくったおうちは、ヤモくんも喜んでくれたようです。普段、物事に果敢にチャレンジしていくことの多いHちゃんですが、ヤモくんのことになるとドキドキが止まりません。「ちゃんとご飯食べてくれるかな・・・」と心配して何度も覗きこむ姿は、まるでお母さんのようです。本当に愛おしくてたまらない様子がヤモくんを見つめるHちゃんを見て興味を持った友だちも、徐々にヤモくんと過ごす時間が増えていきました。おうちが完成した次のテーマは、『ヤモくんの誕生日はいつにするのか』自分の中にある想いを伝え合うことは、きっとだいちさんにとって大きな経験になることと思います。

“何を”よりも“どのように”伝え合うのか、過程を大切にしながら、表現する心地よさや伝える難しさ、力を合わせる楽しさなど、試行錯誤しながら沢山の経験を重ねて欲しいと思います。そして生き物を愛おしいと思う気持ちも、苦手だけど観察してみたいと思うことも、それぞれの形で生き物との出会いを楽しむことができればと思います。

主幹保育教諭 K



めばえ

朝晩が少しずつ涼しくなり、園庭にも落ち葉が舞う季節になりました。園庭では落ち葉の感触を味わったり、風に舞う葉を不思議そうに見上げたりと、保育者と秋を感じながら過ごしています。また、お砂遊びや階段上り、鉄棒にぶら下がる、一人ですべり台をすべるなど、できることが日に日に増え、あそびが活発になってきました。

お部屋では、絵本や手遊びが大好きな子どもたち。活動の前や食事の前にみんなで一緒に絵本や手遊びを楽しんでいます。保育者の声に合わせて身体を揺らし、手を叩いて嬉しい気持ちを表現するなど、細かな動きまで模倣できるようになりました。また、泣いている友だちが居たら、優しく「よしよし」、玩具を「どうぞ」と優しい姿も見られるようになり、友だちとの関わりが**増えて**きました。11月はお散歩や公園へたくさん**出掛けて行きます**。子どもたちに**園外の秋を感じてほしい**です。これからも友だちと一緒に過ごす中で友だちへの**関わり**を大切にしながら、**一緒に楽しんで**いきます。



階段上れるようになったよ



このお花なにかな？

すべり台ののしいね

ふたば

心地よい気候となり、子ども達の大好きな園庭で思う存分楽しめるようになりました。体力もついてきたようでしっぽをつけて追いかっこしたり、鉄棒にぶら下がったり、すべり台を何往復も滑ったりと身体を動かすことを楽しんでいます。

先月は園周辺の散歩にも出掛けることができました。春はバギーに乗ることに慣れずときどきしたり、手をつなぐよりも好きな方へ歩きたいという思いが強かったりとそれぞれの思いを持ってのお散歩でした。今回はお友だちと手をつなぎ「行こう」と喜んだり、車を見つけて「行っちゃったね」と伝えあったり、一人が排水溝を覗くと同じように真似してみたり…一緒に手をつないで歩くことや同じ景色を見て感じたことを共有する姿に成長を感じました。帰ってきてからも、以前なら「帰りたくない！まだ行く！」と泣いていたのに、「お散歩したね」「楽しかったね」「また行きたいね」という声が自然と子ども達から聞こえてきて心も成長しているのだなと嬉しくなりました。「また行こうね」と約束をしているので、これからも機会を作ってたくさん出かけ、秋を感じられたらと思います。先月号でお伝えしたにじブームもまだ続いており、大きな虹を子ども達と製作中です。お楽しみに。



何か見えるかな…



ねこじゃらしみつけた

よいしょ、よいしょ
自分で靴下も脱げるよ



ぞうさんいた



つんつん、これなあに？



手をつないで…
一緒に歩くの楽しいね



つぼみ

園庭遊びでは、朝顔で色水を作ることを楽しんでいます。作った色水をペットボトルに入れて大事そうに持っていたり、カップに入れてジュース屋さんをしたりと色々な遊び方をしています。遊びのなかで朝顔をすり鉢でゴリゴリとこする強さや水の量の加減や、どうしたらペットボトルにうまく色水を入れられるかなど子ども達一人ひとり考え、試しながら遊ぶ姿が見られます。「水あげるね」「〇〇ちゃんのジュースおいしそう」と友だちの遊びにも興味をもち、関わろうとする姿もありました。

子どもたちの遊びを見守っていると、遊びを通して学びに繋がっているのだと改めて感じます。これからも遊びを通して様々な経験をしてほしいと思います。

今月はどんぐりや落ち葉など秋の自然物に触れ、思い思いで制作を楽しんだり、ゆっくり園庭で遊んだりして過ごしていきたいです。



ぶどうジュースだよ



ジュースあげる

朝顔の色水に石鹸をまぜると色が変わります。変化した色に驚く子どもたちです。



いぶき

風が冷たくなって、朝と夕方には少し肌寒く感じる日が多くなってきました。園庭の生き物たちにも変化が見られます。セミ取りに夢中だった子どもたちは、シジミチョウやバッタ探しに夢中です。虫網を使って虫取りをしていた子どもたちでしたが、今では手でチョウやバッタを捕まえています。つぶれてしまわないように大切に手の中に入れて、「みて」と保育者にそっと手の中を覗かせてくれます。手の中でバッタが跳ねると「あ！いとんだ」と嬉しそうです。捕まえた虫を“カゴの中に入れて観察したい”、“一緒に捕まえない”など今子どもたちは『やってみたい』でいっぱいです。そんな子どもたちのやってみたい気持ちを大切に、できるだけやってみたいを実現できるように保育をしていきたいと思っています。また、やってみたい気持ちに耳を傾け、自由に表現できるように材料の種類を増やしたりハサミの使い方をもう一度伝える等環境を整えていきたいと思っています。



めばえさんかわいいね



なににな？みせて



みて～できたよ



だいち組のペアのお友だちと園庭を描きました



ちょうつかまえた



てでつかまえられたよ

ひかり

物語「ロボット・カミイ」の中に登場する“ちびぞう”。映画『ロボット・カミイ the movie』の上映に向けて、ロボット・カミイの相棒であるちびぞうも作ってみることにしました。

ロボット・カミイの本を何度も見返し、「どんないろかな?」「みみはどんなおおきさかな?」とワクワクしながら作りました。カミイが大好きなちびぞうを作ること、カミイを喜ばせたいという思いが込められています。

いざ、ちびぞうが完成すると「カミイのとなりにおいてあげたい」「ほしかったちびぞうができたこと、おしえてあげないとね」とカミイが喜ぶ姿を想像しながら、隣にそっと置いてあげました。ちびぞう作りでも、友だちと協力しながら絵の具を塗ったり、しっぽの三つ編みも、得意な子どもが編み方を教えたりと、子どもたち同士で協力しながら進める姿が見られるようになりました。映画作りを通じて、みんなで一緒にやってみること、誰かを思いやるあたたかさを感ぜられればと思います。

カミイ、よろこんでくれるかな?

みんなでやってみよう

ちびぞうも、だいすきだよ



だいち

『きっとできるだいぼうけんの日』で毎年必ず作っている旗作りでは、開会式で旗をあげることで、一緒っていいなとほっこりしたり、協力するってどういう事と考える機会から、これからも共に過ごす“仲間”とどう進めていくかを、考えてきました。今年の旗は、今後のだいち組に代々引き継いでいけるようなデザインを子どもたちと考えました。「夜までいるから暗い色にして…星もあるね」と案を出し合い、みんなが分かるマークとして最後にかえでマークを書くが決められました。

…が、かえでマークを私が書くことになり（これからずっと残っていく旗になるんだな…）と少し緊張しながら書き始めました。すると、近くで見守ってくれているだいちさんから小さな声で「頑張れ…」「先生だったらできるよ」「いい感じ、あと少し…」と息を飲むような静かな空間の中、子どもたちの心の声があちらこちらから聞こえてきました。集中して書き終わると「お～!」と完成の達成感と安堵感を拍手で伝えてくれました。自分と同じ気持ちで見てくれている人がいる安心感や応援してくれる人がいる温かさを感じた瞬間でした。夜のお楽しみでの体験からだいち組での想像が膨らみ、マンホール探しに向かいました。マンホールの不思議から綺麗な水と汚れた水の違いやどうすれば水が綺麗になるか呟く声も聞こえてき始めています。大人の考えだけを話すだけでなく、子どもたちの素直な不思議や気づいた発見を“知りたい”気持ちから子どもたちの考える力、工夫する力になるよう、子どもたちと共にこれからのプロジェクトを進めて『仲間』づくりを深めていきます。

かっぱから手紙が届いた場所にみんなで作ったきゅうりと手紙を置くことに…

子ども達の小さな声援に温かい気持ちに

かっぱさんに届きますように…



先日まで日中は汗ばむ陽気が続いていましたが、秋を通り越して初冬を感じる頃となりました。

子どもだけではなく、大人の体調管理も心配となる季節です。みなさま気をつけてお過ごしください。

先日、お昼ご飯に「かき揚げ」ができました。さつまいも・玉ねぎ・にんじん・ちりめんじゃこが入っていてサクサクでほんのり塩味の美味しいかき揚げでした。子どもたちはおかわりをする子もいれば、食べにくそうにする子もいました。食が進まない子どもに「苦手？」と聞くと「家で食べたことがないから」と、家ではなかなか出てくるメニューではないかなと思い「カリカリは好き？」と聞くと「うん」「それならバラバラにして食べてみたら」と提案をしてみると箸で分解が始まりました。一口頬張ると「カリカリおいしい。これおいしい」玉ねぎもおいしい、食べながら「これどうして作ったのかな？」に変わり食べることが楽しくなったようです。ばらけたカリカリのさつまいもや他の具材のおかわりもあり、食が進まなかった子どもも次々とおかわりにきてくれました。

私たち職員もこどもたちと毎日同じ昼食とおやつを食べています。旬の食材で季節を感じたり、子どもと一緒に味わったりしながらおいしさを共感し、元気に過ごさせています。食べることは何よりの活力になります。作ってくれているお台所のみなさんに感謝。毎日ごちそうさまです。

主観保育教諭 F

～おうちでクッキング～

今回は、きなこおはぎを紹介します。

とっても簡単なのに栄養満点でお子様達も大喜びです。

朝、時間がない時や食べなくて困ってる時にぜひ活用してみてください。

手軽にタンパク質、イソフラボン、食物繊維、ビタミン、ミネラルを補える一品です。

○材料

- ・ごはん 80g
- ・きな粉 10g
- ・砂糖 5g
- ・塩 ごく少量

○作り方

- ① ごはんをお好みの大きさに握る。
- ② きな粉、砂糖、塩を合わせて握ったごはんにもぶす。



行事予定

11月 6日(木) 児童交流大会(午前・アメティH)
8日(土) かえでアートフェスティバル
11日(火) 支援アートで遊ぼう
14日(金) 全園児お弁当日
17日(月) 月例健診
18日(火) 支援ヨガ
20日(木) 職員園内研修

(当日の日割り延長は受けられません)

21日(金) 誕生会
25日(火) だいち地域交流会(浜脇中)
26日(水) 移動動物園
27日(木) だいち地域交流会(浜脇小)
絵画 5・28日(水・金)
体操 13・20・27日(6日はお休みです)
11月中旬～12月中旬、1月下旬～2月中旬
幼児(いぶき・ひかり・だいち) 保育参加

*ダンディタイム

29日(土) 13:00～うちあわせ

15:00～19:00

園庭整備・ピタゴラスイッチの修理等

保護者メッセージ

家ではイヤイヤ期や甘えたい気持ち、自立心が混ざって毎日大変ですが、保育園ではご飯やトイレ、片づけも自分で出来るようになっていくと聞き成長を感じました。家でもその姿をみたいですが、焦らず見守っていききたいと思います。 つぼみ組 ひかるさん

だいちになり、色々なことに挑戦できるようになりました。今まではすぐにできないと諦めていましたが、今では出来なくてもやってみる、出来たことはお友達や先生に伝えたいという気持ちが大きくなっています。小学校まであと半年、かえでの生活であとどれくらい出来るかが増えていくのかとても楽しみにしています。

だいち組 みきさん

お知らせ

1階の幼児トイレ前の床の張替えをします。

22日(土)にはがす作業

22日～28日(金) 返しがして乾かしますので気を付けて通ってください

29日(土)

床を張り替えます

12月の予定

幼児保育参加

12月9日(火) おもちつき

12月17日(水) ゆきあそび

12月 キャンドルサービス

12月 おたのしみごはん

最近、「ダンダンダン♪」と足踏みして、満面の笑みでご機嫌な1歳息子。何だか分からないけど楽しそうだなと見ていたら、敬老参観に行ったお祖母ズから、保育園で「幸せなら手をたたこう」ととっても上手に踊ってたよ～とのこと。そんなに可愛いことをしてたのか～！と驚くのと同時に、もう息子なりの世界があるんだなぁと実感しました。 めばえ組 るみさん

本が大好きな我が子。朝から家では図鑑や絵本を読み、ほぼ保育園に迎えに行っても本を見ています。本屋に行っても、表紙を見て何の本かを教えてくれて、保育園でも大好きな本をいっぱい読んで頂いているのを感じる日々です。いつもありがとうございます。

ふたば組 かなこさん

家では全く野菜を食べない娘ですが、最近よく先生から今日はお昼ご飯完食しましたよ～と聞くことがあり驚いています。野菜食べられたん？と聞くとすごく誇らしそうな顔をします。試しに家で野菜を出しても食べないので、みんなと一緒に食べるから食べらるんだろうなぁと思います。これからも色々な食べ物に触れて好きなものを増やしていって欲しいです

いぶき組 さきさん

保育園に行くときは、入園の頃から息子とキューとタッチをしていました。甘えん坊だった息子が、最近の朝は最後に「ママお仕事がんばってね！」と必ず声をかけてくれるようになりました。赤ちゃんだったのにいつの間にかお兄ちゃんになりもうすぐ小学生。息子の優しい一言に心がとても温かい気持ちになります。かえで保育園の生活も残り5か月になり、残りの時間も友だちや先生と楽しい思い出をたくさん作って欲しいなと思います。

だいち組 たかこさん

入園から半年が経ち、手洗いやお着替えが1人で出来るようになったり、モリモリとご飯を食べられるようになったりと、保育園で良い刺激を受けてみるみる成長中の娘。先日は、お家に遊びに来たばあばに向かって、何やら必死に指を差し出しているので、よくみて見るとなんと指ハートをしてくれていました。保育園で先生に教えてもらったそうです。今ではバイバイとセットでハートを送り、愛嬌を振り撒いています。

ふたば組 りなさん

指折り数えて楽しみにしていた敬老週間。みかんじいちゃんが来てくれていることが嬉しいのもありますが、一緒に帰ることをとても楽しみにしていました。いつもと違う道でゆっくり歩いて探検して帰り、ママのお迎えまで、みかんジュースとお菓子付きでテレビを見たり、普段家ではできないことを満喫し、とても良い思い出になった様です。

だいち組 まどかさん

家に帰ると、嬉しそうに保育園であったことを色々話してくれて、私もそれを聞くのが日々の楽しみになっています。最近、読み書きの楽しさを知り、街中で見つけた文字を読んだり新聞の切り抜きをしたり…まだまだ「抱っこお～！」が抜けない息子ですが、親子共に楽しみながら成長を見守って行きたいと思います。

だいち組 みさこさん